

授業科目名	生 命 倫 理			担当教員	柳井 圭子	
開講年次	2 年後期	セメスター	4		時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	必修	授業形態	演習		使用教室	
授業の目的	生死にまつわる医療・看護の問題の中でも、看護における倫理的な問題を見極め、人間の尊厳と患者の権利の尊重を基盤とした判断能力を学ぶ。					
到達目標	1. 生命倫理誕生の背景および歴史的な発展過程を認識し、生命倫理の学習する意味を説明できる。 2. 生命倫理として取り上げられる事例についてなにが問題であるかを説明できる。 3. 生命倫理の諸問題に対する議論状況を知り、自身の倫理的価値から導き出される判断・決定について述べるができる。 4. ニュース等報道に目を向け、新たな生命倫理問題を課題として検討することができる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、主要概念の一つである「人間」に位置づけられている。 ディプロマポリシーの第一には「人間の尊厳と権利を擁護する力」が掲げられている。生命倫理では、看護職として将来、命や健康を守る現場で直面する多くの倫理的な問題について、看護の対象者である方々の人権や個人の尊厳について、また倫理的配慮の大切さを考え理解するための基盤となる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎	○				
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	導入： 生命倫理学の誕生と背景・学問的位置づけ	講義	予習：テキスト序章・第 1 章を読み、生命倫理の歴史について調べる。		60 分	柳井
2	医学研究と人権	講義 演習 (討議)	予習：テキスト第 5 章を読み、医学の発展と生命倫理を学ぶ意味について考える。		60 分	柳井
3	生命の始期と生命倫理	講義 演習 (討議)	予習：テキスト第 2 章を読み、重要事項について調べてくる。		60 分	柳井
4	再生医療・エンハンスメント	講義 演習 (討議)	予習：テキスト第 12 章を読み、重要事項について調べてくる。		60 分	柳井
5	生命の終期と生命倫理	講義 演習 (討議)	予習：テキスト第 9 章を読み、重要事項について調べてくる。		60 分	柳井

6	患者主体の医療について 1	講義 演習 (GW)	予習：配布した課題資料を読んでおく。	60 分	柳井
7	患者主体の医療について 2	講義 演習 (GW)	予習：テキスト第 6.7.8.10.13 章担当部分について検討する。	60 分	柳井
8	まとめ：フィードバック	講義 演習 (討議)	予習：テキスト第 14 章を読み、重要事項について調べてくる。	60 分	柳井
先行履修科目					
テキスト		玉井真理子・大谷いづみ：はじめて出会う生命倫理．有斐閣，2011．			
参考文献		黒崎剛・野村俊明：生命倫理の教科書：何が問題なのか，ミネルヴァ書房，2014． 小林亜津子：看護が直面する 11 のモラル・ジレンマ，ナカニシヤ出版，2010． 他、適宜紹介する。			
評価方法		授業への参加度・提出物（50％）、課題レポート（50％）を合計して算出する。			
メッセージ		看護の対象では「人」です。しかし科学や医療の進歩・発展によって人の「生命」「健康」の概念が揺らいでいます。なぜ倫理が問われるのでしょうか。倫理的配慮とはどのようなものでなぜ大切なのでしょうか。本授業では、一人の人間として、医療保健の専門家として真剣に考えざるを得ない問題を、価値感の異なる他者の気持ちや意見を聞き、また推察しながら、公正・誠実な答えを導けるよう倫理的な思考と態度を養う場です。どれも難問ばかりですが、高い人権意識で積極的に参加してください。			